

平成29年度炭素・窒素安定同位体精密測定研修案内

炭素・窒素安定同位体精密測定は、地球科学、環境科学、医療や医学、工学、海洋学、農学の幅広い分野の他、産地偽装やドーピングなどを立証する有力な手段としても活用されています。しかし、ただ単に試料を装置で測定しただけでは、正確な結果が得られません。本研修では、実際に測定する技術者を対象とした、測定に関する基礎知識の習得と実習を通じて測定の技術的な手法等、測定上の留意点等について解説いたします。研修終了後には、修了証書を授与いたします。

日 程：平成29年12月21日（木）～22日（金）（2日間）

場 所：公益財団法人 日本分析センター

〒263-0002 千葉県千葉市稲毛区山王町295-3

定 員：2名

受講料：43,200円（税込）〔テキスト[☆] 代込〕

研修終了時に修了証を授与いたします。

☆：「安定同位体比精密測定のためのマニュアル」 ©Printed in Japan ISBN 978-4-907305-00-0

※使用機器：サーモフィシャーサイエンティフィック社製の安定同位体比質量分析測定装置 (Delta V Advantage)

【研修プログラム】

第1日目	
11:00～	ガイダンス
11:15～11:45	講義「生元素の安定同位体比～その基礎と応用～」 講師：国立研究開発法人 海洋研究開発機構 小川奈々子氏
11:45～12:00	装置・前処理・測定準備の説明
12:00～13:00	昼休み
13:00～13:15	燃焼・還元炉・トラップ交換方法の説明 サンプルの秤量/ 試料前処理の説明
13:15～14:15	実習1 試料前処理/ 燃焼・還元炉交換の作業
14:30～14:45	装置稼働の確認
15:00～17:00	実習2 装置の立ち上げ、状態のチェック、EAの準備・EAとIRMSの接続 測定条件の設定・確認
17:15～17:30	質疑応答

第2日目	
9:30～10:30	実習3 測定前の準備作業 リファレンスガス出力の確認、ピークジャンプの設定、メソッドの作成
10:45～12:00	実習4 試料の測定、標準試料の分析、試料の分析
12:00～13:00	昼休み
13:00～15:00	実習5 精度管理とデータ処理、データの評価、分析終了の操作
15:15～16:30	実習6 測定後操作、保守管理、測定結果の補正
16:45～17:00	質疑応答、討論、アンケート調査
17:15～17:15	閉講式（修了証の交付）

【連絡先】

公益財団法人 日本分析センター 研究開発グループ

〒263-0002 千葉県千葉市稲毛区山王町295-3

TEL: 043-423-5325 FAX: 043-424-8660



公益財団法人 日本分析センター

平成29年度炭素・窒素安定同位体精密測定研修案内

【お申込み方法】

- ① 申込書にご記入の上、開催日10日前までにFAXにて送信をお願い致します。
- ② 申込書受領後、1週間以内に受講票と請求書をFAX又はメールにて送信致します。
(受講票は、研修開催日にご持参下さい。)
- ③ 参加費用は、開催日の3日前(土日祝日含まず)までに、指定口座にお振込み下さい。
(振込手数料につきましては、お客様ご負担にてお願い致します。)

以下に必要事項をご記入下さい。

申 込 書		申込日		年	月	日
フリガナ 参加者名					印	性別 ☐ 男 ☐ 女
勤務先名						
所 属				役 職		
連絡先	〒					
	住所					
	TEL			FAX		
	Eメール					
使用機器	メーカー			型番		
従事経験年数	年					
請求書の宛先						
ご質問						

【連絡先】

公益財団法人 日本分析センター 研究開発グループ
〒263-0002 千葉県千葉市稲毛区山王町295-3
TEL: 043-423-5325 FAX: 043-424-8660